

授業科目名 (英文名)	Reading and Discussion 2 英語 R D 2 (S 8)	科目区分 対象学生	
単位数	1.00	開講年次・ 学期	1 年次・後期
担当教員	木本 幸憲	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	1) 様々な社会活動の場面において必要となる英語文を読んで理解することができる 2) 上記の英語文についての分析や意見を表現することができる 3) 読解のためのスキルや背景知識の利用方法を習得している		
講義内容・授業計画	授業では英文で書かれた内容について理解しまた自分でまとめて意見を表現することができるように、英文読解のための基本的文法事項、文の構造、語彙、慣用句などを学習する。また、英文のパラグラフ構造を学習し、スキミング、スキミング、背景知識の利用など読解のためのスキルを習得する。毎回の課題をこなし、予習復習をおこない、積極的に授業に参加することが求められる。 1 The power of Imagination and Effort (原因と結果を述べる) 2 The History of Jeans (事実を時系列に沿って説明する) 3 To Long Life! (事実を時系列に沿って説明する) 4 Be Careful What You Wish For (物語の文体に慣れる) 5 Baseball and Cricket (比較する) 6 In Our Blood or in Our Minds? (分類しながら説明する) 7 Know Yourself, Know the Market (目的をもって尋ねる) 8 Brainstorming (手順を説明する) 9 A Good Consumer (定義を示して例示する) 10 Welcome to the Hall of Fame! (スピーチの文体に慣れる) 11 Special Circumstances (e-mail と会話文) 12 Lies and Statistics (グラフなどを使いながら説明する) 13 Builders Break Ground on Blackwood Bridge Project (時事ニュース) 14 Coded Communication (コミュニケーションのスタイルを理解する) 15 Lucid Dreaming (報告する (科学))		
テキスト	『インプットからアウトプットへ：中級編 English Stream: Intermediate』		
参考文献			
成績評価の基準・方法	様々な社会活動において必要となる英語文を読んで理解し、その内容の分析や内容に対する意見を表現することができるものに単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じて、S から C まで成績を与える。 レポート・小テストなどによる平常点40%、試験60%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない。		
備考			